

マルヒロ増収増益

19年3月期 スモークサーモン、イカ堅調

2900万円の増収増益だった。税引前当期純利益は4・3倍の1億3000万円。

還元も行った」(同)。今期については「厳しい環境は変わらないだろう」(同)とし、細かいコスト削減を継続して行っていく方針。19年3月期と同レベルの売り上げ、利益水準を目標としている。

【大阪】マルヒロ(大阪市、藤崎保晴社長)の2019年3月期単体決算は売上高が前期比2・7%増の35億1800万円、営業利益が2・4倍の1億200万円、経常利益が76・7%増の1億



藤崎保晴社長

「原料高・製品安の厳しい環境だったが、細かいことの積み上げで売り上げ、利益とも目標を達成できた」と藤崎社長。商材別の売り上げではスモークサーモンとイカが堅調。アニサキス問題の影響が続く締めサバは「やや戻した」(藤崎社長)。焼き魚は前期並みだった。利益面では「経費の見直しを進めた。人件費は上昇。従業員への

